

発行所
日刊建設工業新聞社
東京都港区東新橋2-2-10
(郵便番号 105-0021)
電話(大代表) 03(3433)7151
FAX 03(3433)1042
振替口座 00140-2-91051
©日刊建設工業新聞 2000

日刊建設工業新聞

THE NIKKAN KENSETSU-KOGYO SHIMBUN

第15159号(昭和3年7月19日第3種郵便物認可・昭和36年12月8日国鉄特別扱東京局承認28号)

管内切削

コスト30%以上削減

きんでん
など3社
先端にツインカメラ

きんでんは、TVカメラによるため交通障害が大きくな
る問題があった。

これを課題を解決する
ためきんでんら3社は、切
削機の先端に2台のCCD
カメラを収納した監視簡付
きの新切削機を開発。対象
とする管径は125～15
0mm。機器本体の全長は管
路曲線への対応を考慮し、
710mmとした。

カメラは、進行方向を監
視するものと、カッターヘ
ッドの動きを追跡するもの
を搭載。これらのカメラに
よって管内前方の破損やた

い積物などの状況を把握で
きるとともに、首振り機能
を持ったカメラが切削機の
カッターヘッドの動きを追
跡し、作業員のカメラ位置
調整を省略できるなど、効
率な切削作業が行える。

また、1カ所のマンホ
ルからの作業となり、交通
障害が抑えられるほか、作
業スタッフの削減も実現。
標準施工単価は1日当たり
106万円で、従来の同70
万円に比べ30%以上のコス
トダウンになるといふ。

削の施工コストを30%以上
削減することが可能だと試
算している。きんでんは今
後、電力会社など地中管路
を保有する企業を対象に採
用を働きかける方針だ。

同社は、路面の掘削を併
わず地中管路を更新する工
法としてTVカメラで監視
しながら管路の内面を切削
する方法を適用。これまでの
の工法は、TVカメラと切
削機が構造的に分離してい
ないため、それぞれの機械
を異なる作業員が無線を用
い遠隔操作するなど作業性
に難があったほか、マン
ホール2カ所で道路占有す